

# 図書館だより

2015  
No.178



- 雑誌スポンサー制度を導入しました!.....P1
- 4月23日~5月12日はこどもの読書週間でした.....P2~3
- 郷土の文化人 その16 磯淵 猛.....P4

ふじさわ

## 雑誌スポンサー制度を導入しました!

「雑誌スポンサー制度」とは、藤沢市図書館が毎月購入している雑誌の購入費を企業等に負担していただく代わりに、雑誌最新号に企業広告を表示できるという制度です。

この制度は、図書館における雑誌購入費の財源を確保するとともに、年間約150万人にのぼる図書館利用者向けに、スポンサーとなる地元企業等のPR及び企業のイメージアップを図ることが目的です。雑誌と雑誌架には企業名(スポンサー名)を表示し、企業(スポンサー)広告が入ります。制度の詳細や申し込み方法、スポンサー名、雑誌一覧は、図書館ホームページをご覧ください。



## 雑誌スポンサーになっていただくまでに

平成27年1月から、広報ふじさわ、図書館ホームページ、ケーブルテレビ、レディオ湘南、新聞掲載等で募集するとともに、商工会議所や商店会等にもご協力いただきました。その結果、平成27年5月現在では、26社・104誌のスポンサーになっていただき、購入費は約95万円となりました。

本年度のスポンサー募集は終了しましたが、来年度の募集は1月頃に行う予定です。雑誌スポンサーは、1誌につき4,000円台から平均しても約1万円前後で、1年間、企業のPRやイメージアップを行うことができます。また、雑誌購入費は、図書館資料の充実に充てさせていただきます。この機会にぜひ図書館に足を運んでいただき、一般書・児童書同様雑誌架もご覧ください。

- 【市民図書館】 総合市民図書館 (Tel.43-1111) 南市民図書館 (Tel.27-1044) 辻堂市民図書館 (Tel.35-0028)  
湘南大庭市民図書館 (Tel.86-1666)
- 【市民図書室】 長後 (Tel.43-7655) 明治 (Tel.35-7095) 辻堂 (Tel.35-7076) 村岡 (Tel.28-6939)  
片瀬 (Tel.28-6935) 遠藤 (Tel.88-6235) 六会 (Tel.83-4686) 善行 (Tel.83-4687)  
藤沢 (Tel.28-6895) 鶴沼 (Tel.35-7096) 御所見 (Tel.48-4675)

図書館のホームページ <http://www.lib.city.fujisawa.kanagawa.jp/>



(携帯版)



# 4月23日～5月12日はこどもの読書週間でした



図書館では、毎年子ども向けの事業を行っています。今年もたくさんの方にご来館いただき、ありがとうございました。

4月23日 おおきなおおきなおはなし会（総合市民図書館）

4月25日 きりがみでつくる はなとむし（辻堂市民図書館）  
紙を切って花や虫を作ったあと、おはなし会をしました。



4月29日 おりがみであそぼう（湘南大庭市民図書館）  
「こいのぼりの容れ物」と「花のこま」をおりがみで作りました。

4月29日 わらべうたで遊ぼう♪（総合市民図書館）



5月9日 としょかんで“どうぶつ”さがし！！（総合市民図書館）  
どうぶつが出てくる本をさがしてもらい、そのあとおはなし会をしました。



5月9日 こどもの読書週間おはなしのつどい（南市民図書館）  
はるのおはなし会（湘南大庭市民図書館）

5月10日 パパほんよんで！！（総合市民図書館）  
現役“パパ”に絵本を読んでもらいました。

みんなであつくりよう

## 本の木



辻堂館の「本の木」は横はばが2メートルもある大きな木です！

こどもの読書週間では、4館で共通して「みんなであつくりよう！本の木」を行っています。

各館の子どもの本のコーナーに掲示した「本の木」には、はっぱやくだものの形をした紙に、来館した子どもたちの「すきなほん」「おすすめの本」と、その本の「すきなところ」を書いて、はってもらいます。

子どもたちは、「すきなところ」の欄に「おもしろいんだよ」「感動したよ」「泣けちゃうよ！」と、好きな本をだれかに教えたいという気持ちが伝わってくる紹介をたくさん書いてくれます。

そして、他のお友だちが書いた紹介を興味深そうに読んでいる子どもの姿もよく見られます。やはり、同じ子どもがおすすめしている本だからこそ、読んでみたくなるのですね。「かいけつゾロリ」シリーズは毎年とっても人気です。絵本では「ぐりとぐら」「11ぴきのねこ」などもよく紹介されています。

そこで、各館では、こどもの読書週間のあとに、集計したランキングを掲示したり、子どもたちの書いてくれた紹介と一緒に本を並べて展示コーナーをつくらせています。他の子どもたちの紹介を見て借りていく子どももたくさんいますよ。

これからも「本の木」を続けていきますので、皆さまもぜひこどもの読書週間の際は、ご参加ください。



大庭館展示「みんなのすきなほん」  
子どもが書いた紹介もいっしょに展示しています。

## ? “こどもの読書週間” ってなに？

子どもたちにもっと本を！との願いから、「こどもの読書週間」は1959年（昭和34年）にはじまりました。もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間（5月1日～14日）でしたが、2000年より、今の4月23日（世界本の日・子ども読書の日）～5月12日になりました。

小さいときから本を読む楽しさを知っていることは、子どもが大きくなるためにとても大切なことです。「こどもの読書週間」のあいだ、図書館や本屋さん、学校などでは、読み聞かせや人形劇などの楽しい行事がいっぱい行われます。「こどもの読書週間」は、大人が本を子どもに手わたす週間でもあるのです。（公益財団法人 読書推進運動協議会ホームページより）

藤沢市の図書館でも、子どもたちにとってかけがえのない一冊に出会えることを願って、こどもの読書週間に様々な事業をおこなっています。

## 秋の読書週間もぜひお越しください

10月27日～11月9日（文化の日を中心にした2週間）は秋の読書週間です。子ども向けの事業はもちろん、ほかにもさまざまな行事をおこないますので、ぜひ図書館に足をお運びください♪



# いそぶち たけし 磯淵 猛

## プロフィール

1951年愛媛県生まれ。紅茶研究家・エッセイスト。青山学院大学卒業後、商社勤務を経て、1979年紅茶専門店ディンブラを開業。紅茶の輸入、レシピの開発、技術指導、経営アドバイスなど、紅茶研究の分野で幅広く活躍。

### 紅茶は人が飲むから素晴らしい

「僕の人生を変えたのは、紅茶との出会いというより人との出会いでした。大学時代にスリランカの研修生と仲良くなり、その5年後に彼の国を訪れると、喜んだ彼は僕を紅茶工場に案内してくれました。そこで出会った工場長は異国のただの若者の僕を優しくもてなしてくれました。また、茶畑の子ども達は輝くような笑顔を向けてくれました。何か起業しようと考えていた僕は、そんな紅茶の国の人々に心を動かされ、この紅茶を輸入して日本に紅茶の美味しさを広めようと商売の方向を決めたのです。」

そして、28歳の時に鎌倉に紅茶専門店「ディンブラ」を開業し、20年前にお店を藤沢に移転しました。お住まいも藤沢。故郷が瀬戸内海に近く、海が近いところが共通していて落ち着くそうです。

ディンブラでは、誰よりも子どもを大切にしています。「子どもは感受性が豊かなので、一人前に丁寧に接することでお店での振る舞い方がわかり、陶器のカップで心をこめて出された紅茶のおいしさを感じてくれるのです。紅茶を好きになった子ども達が大人になっても飲み続ける限り、紅茶の国の茶畑は繁栄し、茶園の子ども達が笑顔で暮らせます。子どもを大切にすることは紅茶の未来へつながっていくのです。」

「紅茶はただの葉っぱではなく、老若男女

を問わずフラットに人と人とを繋ぐコミュニケーションツールであり、人に笑顔を生み出すもの」と話す磯淵さん。高級なお店で出される一杯も、産地の茶畑での休憩時間にプラスチックのカップで出される一杯も、中身は同じ紅茶です。差し出されるお茶には、差し出す人の思いがこめられているので、幸せな気持ちと笑顔が生まれるのです。「紅茶が素晴らしいのではない。人が飲むから紅茶は素晴らしいのです。」

磯淵さんは日本で紅茶をポピュラーなものにした第一人者です。20年ほど前からは、有名な清涼飲料水メーカーの紅茶指導に携わり、最近では大手ファストフードのチェーン店でケーキと紅茶のセットの開発指導をされています。また、レシピ本、エッセイ、紀行文、歴史本など紅茶に関する著作は様々な分野で40冊以上を出版されています。情景が目に浮かぶような生き生きとした文章は、子どもの頃から本が好きで、詩や作文が得意だったことにも関係がありそうです。一杯の紅茶の向うにはどんな国の物語があるのでしょうか。皆さんも紅茶からつながる世界を読書で味わってみませんか。きっと、いつもの紅茶が違って感じられることでしょう。

### 所蔵作品

- 「30分で人生が深まる紅茶術－Enjoy Your Cup of Black Tea!－」 ポプラ社 2014年  
「磯淵猛が歩いたイギリスが見つけた紅茶の国－紅茶レジェンド 紅茶史エッセイ－」  
土屋書店 2011年  
「一杯の紅茶の世界史」 文藝春秋 2005年  
「ティータイムその前に」 楽 1989年  
他多数

### 編集後記

暑い日が続いておりますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

図書館では昨年に引き続き、節電を行っております。

館内照明の間引き点灯、OPAC（資料検索機）の一部稼働停止（平日のみ）、冷房の28度運転を実施しています。くつろぎコーナーで水分を摂るなどして館内でも体調管理には十分気をつけてください。

発行 藤沢市総合市民図書館  
藤沢市湘南台7-18-2  
TEL 0466-43-1111